

港区と慶應義塾との連携協力に関する基本協定を締結（10月4日）

港区三田2丁目にキャンパスがある慶應義塾と港区の間では、これまでも港区民講座やアートマネジメント講座、今回の協定を結ぶ契機となった昭和の地域力再発見事業など様々な連携が行われてきました。

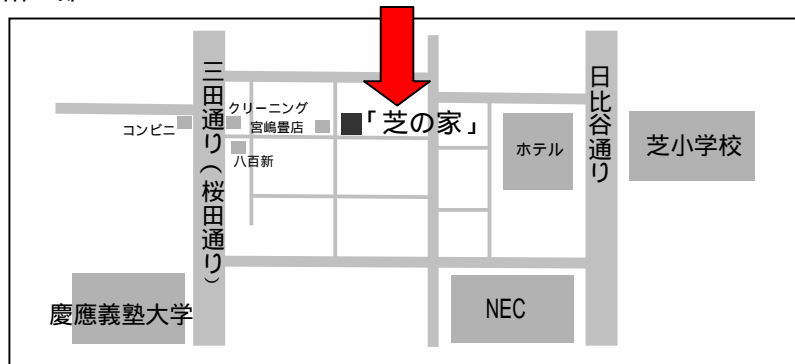
現在、慶應義塾は創立150年に際し、「独立して生きる力」と「協力して生きる力」を兼ね備えた人間を育むことを目指し、教育・研究・医療・国際連携・社会貢献・学生支援などにおいて様々な事業を展開しています。

また、港区においては、さらなる地域福祉の向上に向け、地域の大学との連携、協働によって、大学の持つ豊富な知識を地域に還元していく取組みが進められています。

今回、これまで築き上げてきた港区と慶應義塾との関係を再認識するとともに、双方が有する資源を活用し、将来にわたって連携・協力を推進し、地域社会及び教育・研究の発展に役立てるために、連携協力に関する基本協定（いわゆる「包括協定」）を締結することとなりました。10月4日に港区芝地区総合支所と慶應義塾との協働事業の拠点「芝の家」にて、協定締結式を開催します。

1. 協定締結式

- (1) 開催日時：2008年10月4日（土）13時30分～14時00分
- (2) 開催場所：昭和の地域力再発見事業拠点「芝の家」（港区芝3-26-10）
都営三田線芝公園駅徒歩約5分、都営大江戸線赤羽橋駅徒歩約6分
都営三田線・浅草線三田駅徒歩約8分、JR田町駅徒歩10分
- (3) 出席者：港区長・武井雅昭
慶應義塾長・安西祐一郎



2. 昭和の地域力再発見事業拠点「芝の家」オープニングイベント

今回の協定の契機となった慶應義塾と港区芝地区総合支所との連携協働事業の昭和30年代のあたたかい人と人とのつながりの再生を目的とした「昭和の地域力再発見事業」の拠点のオープニングイベントです。

- (1) 開催時間：14時00分～16時00分
- (2) 開催内容：パネル展示：拠点を中心に展開していくプロジェクトをパネル展示で紹介
昔あそび：駄菓子販売と昔遊び（竹馬、けん玉、お絵描き、紙芝居など）
昭和の写真展示：昔懐かしい芝地区の昭和の写真を展示
お店：わた飴、ラムネなどを販売

本資料は、文部科学省記者会、各紙社会部、東京支局等にお送りしています。

本件に関するお問い合わせ先：

港区芝地区総合支所地区政策課（横山、山田）：TEL03-3578-3190 又は 3192
慶應義塾広報室（吉野）：TEL03-5427-1541